

# 東海 U15 女子フェスティバル 2023in 岐阜 報告書

令和 6 年 3 月 10 日 (日)

報告書：堂本雅史

事業名	東海 U15 女子フェスティバル 2023in 岐阜
目的	3月8日の女子サッカーに併せてU15世代の普及・育成並びに女子審判員の発掘・普及・育成を兼ねた試合形式のフェスティバルとする。
対象	<b>【参加チーム】</b> 東海大会・東海リーグに出場していない中学1年生～中学3年生の女子とする。  <b>【審判員】</b> 4級・3級を取得しているが、普段笛をふいていない審判が主審・副審をする機会の場合とする。
日時	2024年3月9日(土)–10日(日)
会場	長良川球技メドウ
協力	岐阜県サッカー協会(女子審判委員会)、三重県サッカー協会(女子審判委員会)、静岡県サッカー協会(女子審判委員会)
内容	・リーグ戦形式で各県両日とも総当たり。 ・今回のフェスティバルは宿泊型とし夕食後に審判員・選手全員に女子審判委員会のレクチャーを行う。
参加チーム・審判員	<b>【参加チーム・選手参加人数】</b> ・ JUVEN FC FLOW (岐阜県) 11人 ・ GP-Ange (岐阜県) 16人 ・ F.C.ENFINI ROSA (岐阜県) 7人 ・ F.C.フォレストアレイア (岐阜県) 2人 ・ ラガッツァ焼津 (静岡県) 17人 ・ FC フォルセナ (愛知県) 17人  <b>【審判員】</b> ・ 岐阜県 3人 (河野由依さん、角野友有子さん、伊藤彩乃さん) ・ 三重県 2人 (杉崎美羽さん、加藤亜依さん) ・ 静岡県 4人 (横尾愛結さん、後藤沙那さん、藤田羽紗音さん、山本安星さん)

感想	<p><b>【選手感想】</b></p> <p>・<b>浅畑知花選手</b>(岐阜 緑) 2日間泊まりでサッカーができ、他チーム所属の選手と仲良くなれて楽しかった。また、2日間の試合を通して自分の課題も見つけることができた。 審判には判断力、競技規則の理解が大切で、サッカーと同じように、審判もチームワークが必要だと知れた。</p> <p>・<b>佐藤優衣選手</b>(岐阜 緑) 初め名前を知らない選手たちもいたので、コミュニケーションをいっぱいとり、仲良くなれた。全試合勝てて良かった。 審判講習を受けて、選手の目線とは違ったところからサッカーを見ることができてよかった。</p> <p>・<b>中島麗選手</b>(岐阜 オレンジ) 一日目は中々パスが繋がらず、相手に取られてしまい、シュートを打つことが出来なかったけれども、二日目になると、余裕をもってパスを繋ぎシュートに繋げることが出来たので良かったです。</p> <p>・<b>星屋咲芽選手</b>(岐阜 オレンジ) 二日間、他県のチームと試合をして、他の県のレベルが知れたし、自分たちの今の力も試すことが出来て、とても良い経験になりました。 また、審判の魅力や、大切にすることなどを学ぶことが出来ました。この経験を活かして自分たちの成長などに繋げていきたいです。</p> <p>・<b>松森 夕奈選手</b>(FC フォルセナ) 今回の遠征では他県のチームの方と試合をすることが出来たり、審判講習会で様々なことを学べたりと、とてもいい経験をさせていただきました。 このような機会を頂きありがとうございました。</p> <p>・<b>伊藤ゆめ選手</b>(ラガツァ焼津) ふだん対戦できないような県外のチームと戦うことができ、チームを成長させることが出来ました。ありがとうございました。</p>
	<p><b>【審判感想】</b></p> <p><b>加藤亜依三重審判員</b></p> <p>・ 普段審判ではなく選手として活動していたのであまり笛を吹く機会がなく、いい経験になりました。夜の講習会ではグループディスカッションやスライド講義で、自分が普段考えていなかった審判するにあたって大事なことを考えるいい機会になりました。また機会があれば参加したいですし、この講義を機に次のカテゴリーに行けるように頑張りたいです。</p>
	<p><b>【運営感想】</b></p> <p>昨年は参加チームとして岐阜県・愛知県の2チームではあったが、今年度は愛知県よりFCフォルセナさんが参加していただき、岐阜2チーム・静岡：ラガツァ焼津さんの計4チームで対戦ができ大変盛り上がるフェスティバルとなった。 チームからも副審ではあるが積極的に参加してくれる選手がおり、今後の審判員への発掘もできた。また審判講習などを通じ選手からも「すごく楽しかった。また来年も来たい。講習会などがあり新鮮に感じた」などの感想をもらいました。</p> <p>審判員の方々は試合が終わるとすぐ指導審判員や上級審判員の方の所に行きいろいろ質問をしたりメモを取ったりなど次に繋げるため積極的に学ぶ姿が見られました。 来年度以降もぜひ繋げていきたい事業だと切に感じたフェスティバルでした。</p>

